

町政モニターの皆さんからいただいたご意見を紹介します！

町では、町民の皆さんの考えや意見などを、町政運営の参考としていくため、モニター制度を設置しています。町政モニターの皆さんからは町政全般のこと、町の行事、事業などについての意見を述べていただいています。そこで、昨年12月に行われた第3回町政モニター会議でいただいた意見について、主なものを要約して紹介します。

第3回会議 12月6日（火）開催

意見1 「花いっぱい運動について」

「花いっぱい運動」で花がたくさん植わっているが、その後の管理にも予算をつけて整備してほしい。

【回答】 花々を区民の皆さんで管理されていることに感謝します。幸田町町村合併50周年事業の一環として全町で花を生かしたまちづくりを町民運動として推進するため、「幸田町花いっぱい運動」を平成16年度から実施し、住民参加型で継続的に活動のできる団体の育成を最終目標として展開してきました。事業は平成22年度で終了しましたが、管理は引き続き地元でお願いしたいと思います。苗については、障害者地域活動支援センター（つどいの家）でも栽培して安く販売しています。ご利用ください。



▲平成22年度花いっぱい運動（深溝小）

意見2 「小学生の下校時の福祉バス利用について」

長距離通学をしている子どもたちは下校に福祉バスを利用している。しかし停留所から自宅まで距離がある。いろいろな場所でバスが停まるようにしてもらいたい。

【回答】 平成24年春から福祉バスはコミュニティバスに名前が変わり、路線も3路線から4路線に増えます。利用者のニーズに合わせた細やかな対応ができるようにしたいと思います。まずは長距離の通学をする小学校低学年（1～3年生）の安全を確保します。子どもたちの集合場所単位で学校帰りに送っていきます。4年生以上は学校から帰る時間が違いますので、どのような運行をしたらよいか実験を重ねていきます。今後とも皆さんのご意見をいただきたいと思います。

意見3 「学校給食について」

放射能の問題があるので給食の食材はなるべく地元のもので対応してほしい。長期間にわたり注意してほしい。

【回答】 食材についてはなるべく地産地消で対応しています。放射能については検査を受け安全が確認されたものを使用しています。学校給食センターは、食育を啓発することと地産地消の奨励を目的とする全国学校給食甲子園で入賞し、今年度も文部大臣賞をもらいました。これからも安心安全でおいしい給食の提供に努めていきます。



▲給食センター内

意見4 「移動図書館について」

お年寄りや移動する手段がなかなかないので図書館に行くことができない。地区を巡回する移動図書館があればよいと思う。

【回答】 平成24年春から福祉バスに変わりコミュニティバスが運行します。路線も1路線増えて利用しやすくなるようにバスの運行について考えています。移動図書館については実施する予定はありません。図書館へ行くときにもコミュニティバスを利用していただきたいと思います。

意見5 「産婦人科について」

幸田町には若い世帯が多いが産婦人科が1つしかない。幸田町の南部地区にも産婦人科がほしい。

【回答】 産婦人科、小児科は全国的にも少なく、誘致は難しい状況です。しばらく休診をしていた町内の産婦人科医院も妊婦健診、乳児健診は再開しましたが、分娩は行っていません。医師会には引き続き要望をしていきます。

問合せ 企画政策課情報G（内線343）

あなたの目の前で人が倒れたら…



もし目の前で人が倒れていたら…とてもびっくりされると思います。しかしその後の対応の仕方
で人の生命を左右することもあります。まず自分自身が冷静になって何をすべきかを確認し
ましょう。



突然死とは…

突然死の原因には、心臓病によるものが6割以上を占めています。

心臓突然死は心臓病が原因となりますが、心臓が停止する直接の原因は、心室細動という不整脈が大部分です。心室細動が起こると、心臓が痙攣を起こした状態となり、心臓はポンプとしての機能を失います。そのため脳に血液を送ることができなくなり死に至ります。

※CPRとは…人工呼吸や心臓マッサージなどの心肺蘇生法のことです。

そんなとき必要なのが…AED

この痙攣を正常な状態に戻す唯一の方法は心臓への電気ショックです。

そこで、AEDの使用が必要となり、素早い電気ショックは社会復帰への鍵にもなります。

【AEDの対象者】

1歳以上なら使用できます。

AEDを使用するには？

AEDを使用する場合、心肺蘇生を合わせて行う必要があります。AEDの使用の前に心肺蘇生を行うことがとても重要です。

AEDの使用方法は難しいものではありませんが、心肺蘇生は一定の訓練を受けなければ実践は困難です。また製品により取り扱いや音声ガイダンスに若干の違いがあることから、義務ではないが取り扱いには事実上訓練が必要です。



心肺蘇生



AED

* AEDは心臓を動かす器械ではありません。心肺蘇生法の補助をするための器械です。

一番大切なことは、絶え間なく心臓マッサージを続けることです。

問合せ 予防防災課予防G (☎ 63 - 0119)

3月1日～3月7日は春の火災予防週間です。

春先は空気が乾燥し火災が発生しやすい季節です。

火の取り扱いには十分注意するとともに、万が一に備え消火の準備をするように心掛けましょう。

～住宅防火 命を守る 7つのポイント～ “3つの習慣・4つの対策”

3つの習慣

- 寝たばこは、絶対にやめる。
- ストープは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器などを設置する。
- 寝具・衣類・カーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器などを設置する。
- 高齢者や身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。



住宅用火災警報器は
平成23年6月1日から
全国義務化されました！

新たにふるさと町民に原邦彦先生を認定しました

町では、平成23年度ふるさと町民に原邦彦先生を認定しました。計12人のふるさと町民の皆さんをご紹介します。(敬称略。氏名右側の区名は、在住などゆかりのある場所として表記しました。)

新規認定(1人)



原 邦彦

昭和22年生まれ 幸田町岩堀在住

現在、豊橋技術科学大学大学院にて特命教授として「真のリーダー」育成のためテラーメイド・パトンゾーン教育プログラムを通して学生の教育に従事され、また、駐日ベルギー王国大使館の科学・技術顧問も務められています。

既認定ふるさと町民

氏名	ゆかりの区	生年	備考	氏名	ゆかりの区	生年	備考
中根 寛	幸田区	大正14年生	画家・大学名誉教授	竹田 靖史	大草区	昭和16年生	大学名誉教授
山中 康裕	野場区	昭和16年生	大学名誉教授	左右田健次	野場区	昭和 8年生	大学名誉教授
鈴木 範久	幸田区	昭和10年生	大学名誉教授	杉浦 昌弘	野場区	昭和11年生	大学名誉教授
児玉 靖司	荻 区	昭和37年生	大学教授	松平 忠貞	里 区	昭和 3年生	深溝松平第20代当主
高橋 規矩	大草区	昭和 7年生	広島大学名誉教授	川口 文夫	大草区	昭和15年生	前中部経済連合会会長
山本 直	大草区	昭和 2年生	東洋書芸院名誉会長				

問合せ 企画政策課情報G (内線343)

西三河イベントだより

特別展 「安城ゆかりの大名 藤井松平家」

とき 2月4日(土)～3月18日(日)

ところ 安城市歴史博物館

内容 徳川家を支えた松平庶家のひとつで、江戸時代に大名になった安城市藤井町を発祥とする藤井松平家の歴史をご紹介します。

入場料 400円(中学生以下は無料)

問合せ 安城市歴史博物館 (☎0566-77-6655)



徳川家康より
拝領の具足

安城市

宗廣コレクション 芹沢銈介展 - 手仕事を愛でる -

とき 2月11日(土)～3月25日(日) 午前10時～午後5時

*入場は午後4時30分まで 休館日/月曜日

ところ 岡崎市美術博物館(岡崎市高隆寺町字峠1)

内容 型絵染で知られる芹沢銈介。彼は、暮らしの中から模様を生み出すと、絶妙な色彩感覚と構成力によって屏風や着物・帯などに染め上げました。本展では、郡上紬作家である宗廣氏が愛蔵する染色作品およびガラス絵など、1点ものの肉筆作品をご紹介します。

観覧料 一般1,000円、小中学生500円

*各種障がい者手帳をお持ちの人とその介助者は無料

問合せ 岡崎市美術博物館 (☎28-5000)



▲州浜形四季文屏風

岡崎市

国指定重要無形民俗文化財「鳥羽の火祭り」

燃え上がる炎に飛び込む勇敢な男たち。天下の奇祭「鳥羽の火祭り」が開催されます。

とき 2月12日(日) みそぎ/午後3時ごろ 火祭り/午後7時30分ごろ

ところ 鳥羽神明社(西尾市鳥羽町) 名鉄「三河鳥羽駅」下車徒歩約10分

そのほか 三河鳥羽駅では、ウォーキングと物産展も開催されます。

・はず夢ウォーク(鳥羽の火祭りの里コース) 午前10時～11時30分受付

・とば市(物産展) 午前11時～午後4時

問合せ 西尾市観光協会(西尾市商工観光課内) ☎0563-56-2111



▲昨年の様子

西尾市

相見駅、開業日決定！

相見駅の開業日は、JR東海春のダイヤ改正に合わせて3月17日(土)と決定されました。町では、相見駅完成を記念し、前日の3月16日(金)に完成式典を行います。3月16日は午前10時20分から正午までの間、自由通路を開放しますので、内覧をご希望の方は現地までお越しください。

なお、お車で越しの場合は相見駅西側「相見駅駐車場」をご利用ください。

申込み・問合せ 企画政策課政策G (内線341)



▲建設中の相見駅(平成23年12月26日 撮影)

相見特定土地区画整理事業区域内の保留地を分譲します！

幸田相見特定土地区画整理組合では、事業地内の保留地(7区画)を次のとおり分譲します。

位置番号	街区	画地	面積		売却価格(円)
			㎡	坪(約)	
A	51	2-1	201.00	60.8	17,085,000
B	51	2-2	200.99	60.8	17,084,150
C	51	2-3	200.99	60.8	17,084,150
D	52	4-1	150.89	45.6	13,248,142
E	52	4-2	150.88	45.6	13,020,944
F	54	2	229.29	69.4	21,117,609
G	60	4	266.85	80.7	22,895,730

申込期間

2月20日(月)～24日(金)

申込場所

組合事務所
(役場2階 都市計画課内)

抽選日

2月26日(日) 午前10時～

【現場見学会】

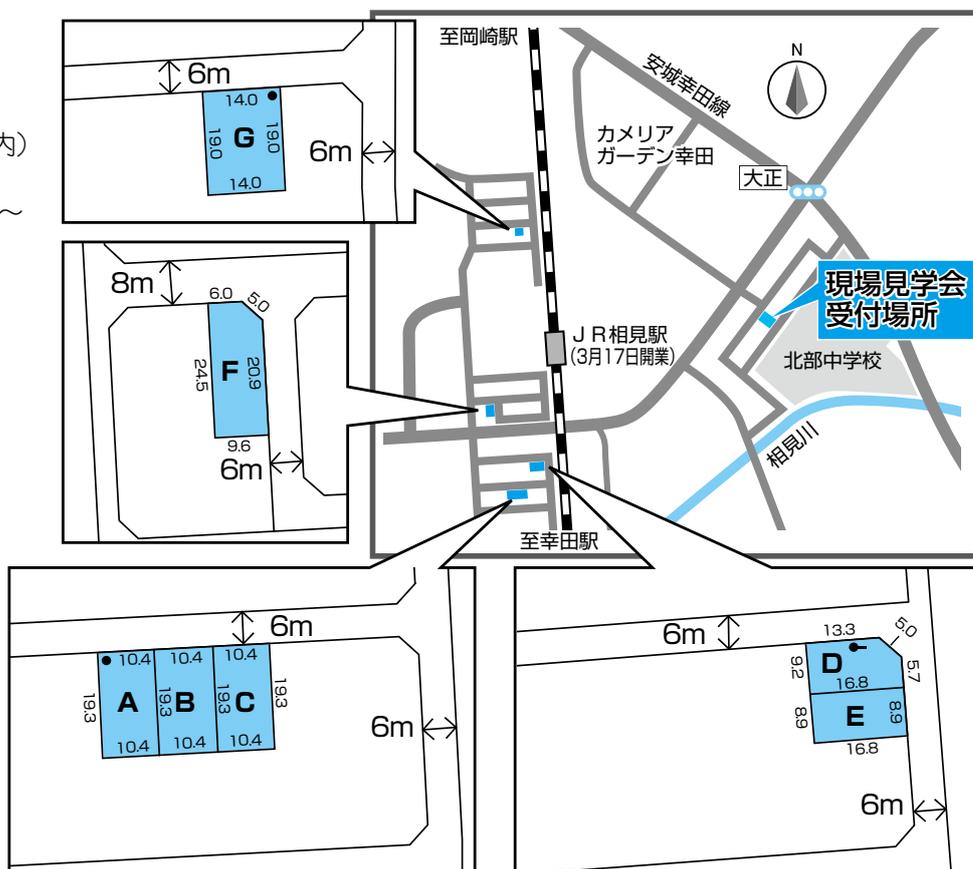
とき 2月19日(日)

午前9時～午後4時
(正午から午後1時は除く)

ところ 組合現地事務所
(北部中学校西)

問合せ

土地の詳細、申し込みおよび抽選方法などについては、組合事務局(都市計画課内、内線236)へお問い合わせください。

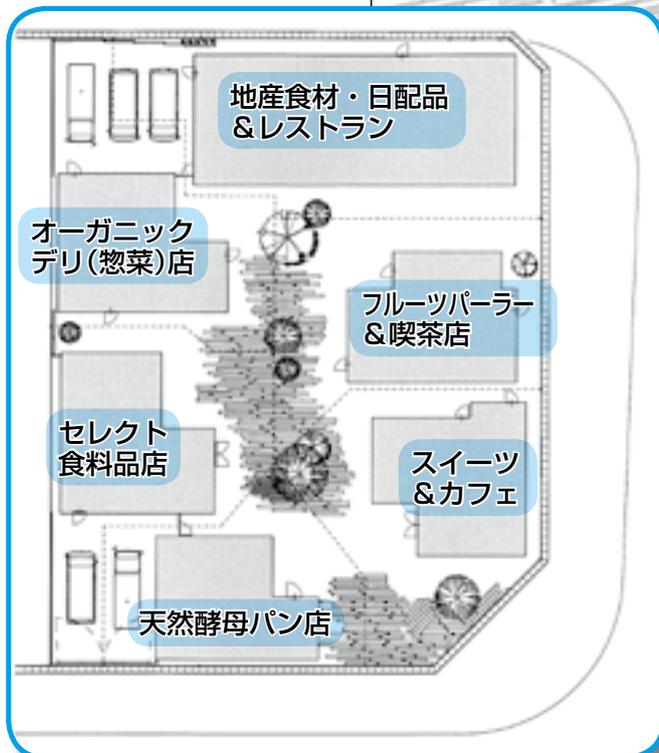
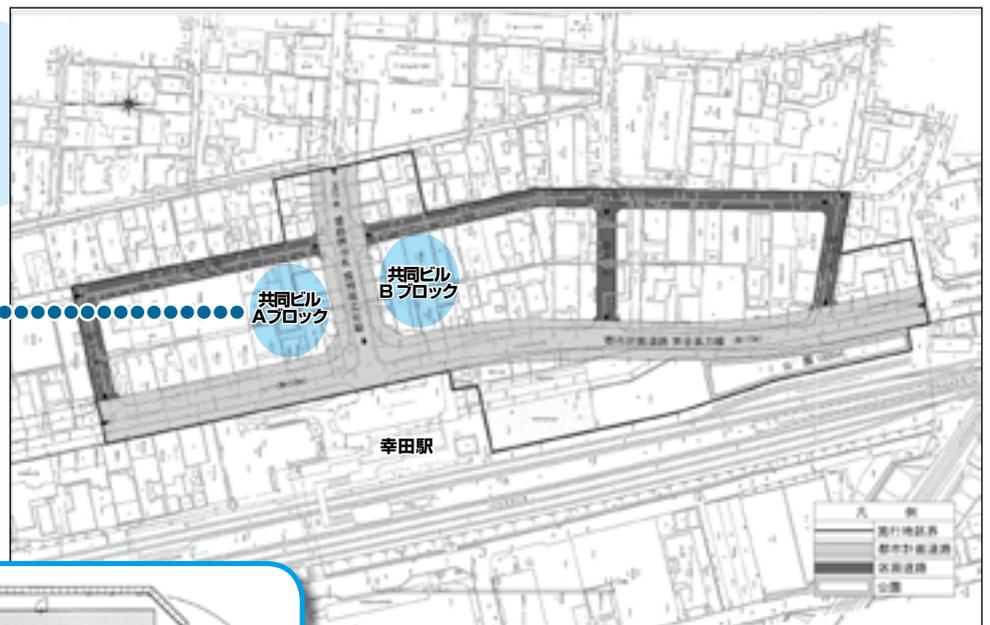


●は電柱 ●は電柱(ハンド付き)

幸田駅前 土地区画整理事業に ご協力をお願いします

安心で
にぎわいのある
幸田駅前へ

西三河都市計画事業
幸田駅前土地区画整理事業
設計図



幸田駅前土地区画整理事業（平成18年10月事業認可）は、平成21年度から本格的に建物移転や工事が始まりました。

これから事業区域内での建物の取り壊しや工事が集中する時期になることに伴い、通行規制などで幸田駅を利用される人や駅前地区にお住まいの皆さまには、ご迷惑をおかけする場合もありますが、引き続き事業へのご理解とご協力をお願いします。

問合せ

都市計画課駅前整備G（内線234）

▲幸田駅前地区Aブロック共同ビルの施設配置イメージ

▼ Aブロック共同ビルの施設外観イメージ



平成 24 年 4 月末 Aブロック共同ビルがいよいよオープン！

幸田駅前では、土地区画整理事業に併せ、商業の活性化と良好な住環境整備のため、地権者による共同ビル建設を進めています。県道芦谷蒲郡線を挟んで北側のAブロックは商業・サービスの提供を、南側のBブロックは住宅系施設の供給を中心に行う施設としています。

その第1弾として進めているAブロックの共同ビルが、いよいよオープンを迎えますのでお知らせします。

【20坪～90坪の「食」生活を提案する6つの専門店群】

敷地面積 約400坪 店舗床面積 約230坪

駐車場 約70台（敷地外に確保） オープン 平成24年4月末予定

施工者 幸田駅前地区Aブロック共同ビル建設組合

総合プロデュース 石黒靖敏コンサルティングアソシエイツ事務所

協力 幸田町商工会、幸田駅前発展会

事務局・問合せ (株)連空間設計 ☎052-682-5457

❖ 建設組合からのPR

中心市街地である幸田駅前のにぎわい・活性化を目指して、周辺住民や駅利用者に愛される商店街づくりを行います。

- 三河・幸田の風土に根ざしたローカル食材と販売者がつながり、豊かな食の世界を展開することにより、幸田の農業と商業双方の振興を図ります。
- 幸田・三河に点在する観光地も含めた日帰り観光の拠点となることにより、幸田の観光の振興を図ります。
- 中庭でのワークショップ、出店、食・農の生産者との交流企画などを通して、町民の皆さんの楽しみの場と地域の交流の場を提供していきます。

荻谷小学校
6年生の皆
さんによる

総合学習

「未来につなげよう 幸田駅前開発大作戦！」
をテーマに



▲ 総合学習の発表風景

荻谷小学校6年生の皆さんが総合学習の一環で、幸田駅前商店街のモデルプランをつくってくれました。ありがとうございました。

地区の現状や歴史を調べたり、駅前にお住まいの皆さんを中心にアンケートやヒアリングを行ったり、各クラス（3クラス）で何度も検討を重ね、3つの素晴らしい提案ができました。

12月19日には幸田老人憩の家で、地元の皆さんにその成果の発表会が行われ、Aブロック共同ビルへの提案をはじめ、幸田駅前商店街全体のことやユニバーサルデザインへの配慮といった大人顔負けの提案もあり、幸田駅前の開発への期待と地域への愛着をひしひしと感じる発表会でした。